

2026年10月7日

「巨大地上絵（芝生アート）2026」完成

“アルプス大草原”にて、令和5年度から取り組む「巨大地上絵（芝生アート）」が今年も完成しました。4年目となる本年のデザインは、2027年3月から横浜で開催される「横浜グリーンエクスポ」の公式ロゴマークと、長野県150周年を記念して製作された公式ロゴの「アルクマ」バージョンがモチーフです。地上絵を北アルプスの雄大な景観とともに楽しめる期間は、11月下旬ごろまでを見込んでいます。



巨大地上絵（芝生アート）（2026年10月3日撮影）

◆大草原の家デッキからベストショット

地上絵は、大草原の家デッキ手すり中央部分から見下ろしたときに、最も美しく見えるように設計されています。図案を3D CADで図面化し、測量機械を用いて正確な位置出しを行うことで、美しい地上絵を実現しています。芝生の中に入って一緒に写真を撮り、地上絵の大きさを体感頂くのもお勧めです。

■鑑賞期間／9月下旬～11月上旬 ■場所／アルプス大草原 ■サイズ／縦28m×横26m



巨大地上絵（芝生アート）の図案

◆横浜グリーンエクスポと長野県 150 周年を記念したデザイン

今年は、2027年3月に横浜で開催される「横浜グリーンエクスポ」の公式ロゴマークと、明治9年の誕生から150周年を迎えた「長野県150周年アルクマバージョン」を描いています。芝生アートを通じて、「横浜グリーンエクスポ」と「長野県政150周年」が、多くの方に認知されることを願っています。

◆手仕事がつくる美しいライン

芝生の美しさと輪郭の鮮明さを保つため、複数の芝刈機を使い分けて丁寧に作業を進めています。細部は剪定鋏や手作業での刈り込みを行い、よりデザインの輪郭を際立たせています。芝生の成長に合わせて定期的なメンテナンスを行い、期間中いつでも美しい状態でご覧いただけます。



スタッフの手による刈込作業